

オープンソース Moodle を用いた高校英語学習支援

熊本大学 大学教育機能開発総合研究センター 安浪誠祐
yasunami@ge.kumamoto-u.ac.jp

1. はじめに

「熊本大学地域連携特別支援事業」は熊本大学と熊本県との共催事業として平成 14 年度から 16 年度まで実施されたが、著者は平成 15 年度と 16 年度の 2 年間に「B 人材育成～21 世紀型グローバルシティズンの育成～」「高大連携推進事業」「英語学習支援」を担当した。本稿では、平成 16 年度に実施した「高校教師向けの研修会講座」と「高校生向けのインターネットを用いた英語学習支援講座」という二つの事業について述べるが、特に、高校英語学習支援に活用したオープンソース Moodle について詳しく述べることとする。

2. 高校教師向けの研修講座：「IT 環境を活用した英語学習支援講座」

本学生涯学習教育研究センター主催の「平成 16 年度熊大サマースクール」は、従来学内でそれぞれに実施されていた事業をまとめて開催されたものである。「教員向け能力開発講座」に 4 講座、「高校生・一般向けイキイキ好奇心講座」に 2 講座そして「中高生向けワクワク科学講座」に 2 講座の合計 8 講座が開講された。著者は「教員向け能力開発講座」のカテゴリの一つである「IT 環境を活用した英語学習支援講座」を担当した。

The screenshot shows the website for the Kumamoto University Summer School. The main heading is '熊大サマースクール' (Kumamoto University Summer School). Below it, there is a banner for the 'IT Environment Utilized English Learning Support' course. The course details include:
- Course Title: IT環境を活用した英語学習支援
- Dates: 開催時期: 8月10日(火) / 受付期間: 7月1日(木)～30日(金)
- Description: e-LearningシステムWebCTを用いた英語学習支援に関する理解を深める。
- Organizer: 担当: 安浪 誠祐 (大学教育機能開発研究センター)
- Target Audience: 受講対象者: 高校英語教員
- Number of Participants: 募集人員: 20人
- Location: 実施場所: 熊本大学 大学教育機能開発総合研究センター 3階E902教室(キョンシアビル17の建物)
- Application: 申込み方法/問合せ先: 受講申込書に必要事項を記入し、FAXまたは電子メールで下記宛て申し込みください。熊本大学 大学教育機能開発総合研究センター 安浪 誠祐
- Contact Info: FAX:096-342-2781 / TEL:096-342-2781(安浪) 電子メール yasunami@ge.kumamoto-u.ac.jp
- Application Form: 受講申込書 (pdf/15kb)
- Fee: 受講料無料
- Link: 『熊大サマースクール』講座一覧へ戻る
- Footer: 『熊本大学生涯学習教育研究センター』

2-1. 講座受講者

本講座は熊本県内の高校英語教師向けの講座として 20 名の定員で参加者を募った。新規の企画であったため、広報活動には苦勞したが 12 名の参加を得ることができた。

2-2. 講座開催趣旨

講座開催の趣旨は次の通りである。「IT 環境の発展と共に教育環境も変化している中で、熊本大学の英語教育においてもコンピュータ・ネットワークが活用されている。学習教材は学内の PC 端末だけでなく学外からも利用できるようになっていて、e-Learning システムを用いた学習指導が行われている。この講座では、熊本大学における CALL 教育及び CMS (Course Management System) /LMS (Learning Management System) と呼ばれる e-Learning ツールの 1 つである WebCT を用いた英語教育を紹介すると共に、ネットワークを活用した英語教育改善策を提案する。Web 上で活用可能なリソースや教材開発ツールの紹介を行うものである。」(募集要項より)

2-3. 講座内容

具体的な講座内容は以下の通りである。

- (1)熊大サマースクール「IT 環境を活用した英語学習支援」講座について
- (2)熊本大学地域貢献特別支援事業「高大連携事業：英語学習支援」について
- (3)熊本大学の英語教育の実態と改革について
- (4)熊本大学における CALL 教材を用いた授業について
- (5)e-Learning システム WebCT について
- (6)Web 上の資源を活用した教材開発について
- (7)CALL 教材・WebCT 教材学習体験
- (8)高校生を対象とした英語学習支援について

2-4. 成果

講座に参加して頂いた先生方に熊本大学で行われ

ているコンピュータを活用した英語教育について、全学的に運用されている WebCT を用いた学習環境について、更に IT 環境を活用した英語学習支援に関してご理解と関心を持って頂くことができた。参加者の中で 1 名の方ではあったが高校で授業を担当されている 3 クラスで高校生に対する学習支援事業に参加頂くことになったことは大きな成果であった。

3. 高校生向けの英語学習支援講座：「e-Learning English on Moodle」

「熊本大学地域貢献特別支援授業」の一環として「e-Learning Station」が Web 上に開設された。当初本学に全学的に導入されている WebCT をプラットフォームとして使用する予定であったが、ライセンスの関係でオープンソースである Moodle を使用することとなった。ここでは「熊本文化」「教育」「情報技術(IT)」「高大連携」という 4 つのカテゴリで 15 講座がオンライン型の公開講座として開講された。講座は一般を対象としたものであったが、著者が担当した「英語学習支援講座」は高校生のみを対象にしたものであった。



3-1. 講座の形態

講座はクラス単位で構成され、高校の教科担当の先生も参加され、指導形態は大学担当者と所属高校の先生とのチーム・ティーチングとなる。インターネットを用いたオンライン型の出前講義のようなものである。

3-2. 講座の内容

本講座は高校生を対象としたものであり、講座担当者が高校生のために作成した教材を使用した英語の聞き取りの演習を行うことによって基本的なリスニング力の向上を図ることを目的とした。著者は高校生が興味・関心を持つような内容のものを厳選して教材を作成し、学習教材として毎週新しいものに更新することにした。学習者は個別的に教材を学習するだけでなく、Web メールによって教材や英語学習に関する質問事項を高校側の先生と大学側の教員である著者に投げかけることができるようにした。

3-3. 講座の流れ

講座の流れは以下の通りである。

- (1) 受講申込み：クラス単位
- (2) 事前説明：講座担当講師が先生方に講座内容・学習方法を説明。
- (3) 出前講座：(初回) 講座担当講師が高校で生徒に講座内容・学習方法を講義。
- (4) オンライン講座：(2回目以降) クラス単位による学習・自主学習・指導助言等を行う。
- (5) 配信回数：5回～10回程度(クラス毎に相談に応じる。)
- (6) 配信開始日：随時(クラス毎に相談に応じる。)
- (7) 配信終了日：クラス毎に相談。

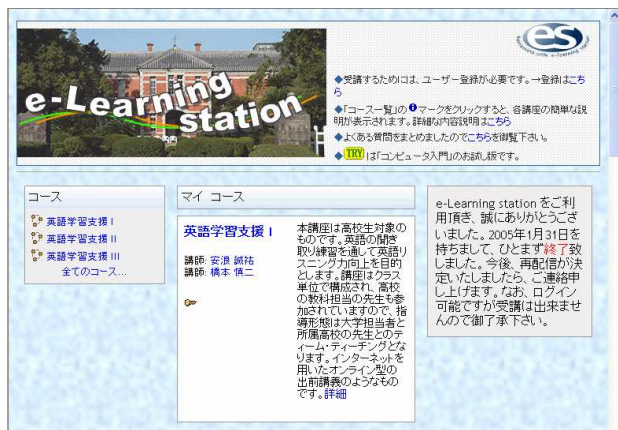
3-4. クラス編成及び個人情報保護対策

英語学習支援講座は高校の先生の申し込みによってクラスを編成し、各々のクラスには他校や他クラスの生徒が混在することはない。クラス名は申し込み順に「英語学習支援Ⅰ」「英語学習支援Ⅱ」「英語学習支援Ⅲ」・・・、高校のクラス担当者は「クラス担任Ⅰ」「クラス担任Ⅱ」「クラス担任Ⅲ」・・・となる。

生徒の氏名は高校側の先生が割り振られた番号を使用することとして、大学側の教員には生徒個人を特定できないようにした。また、本講座で知り得た

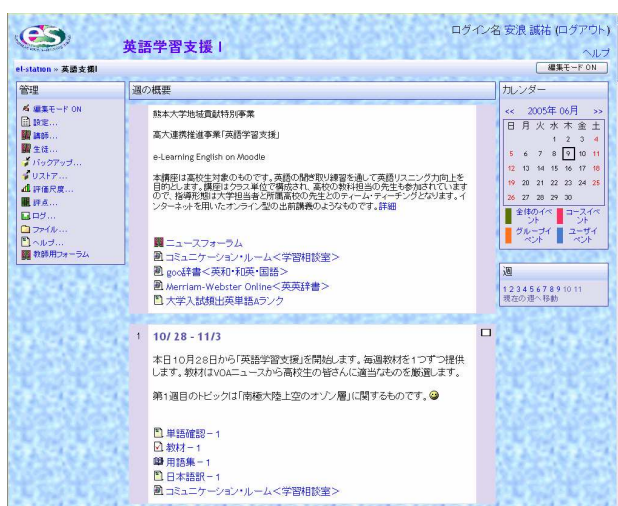
個人情報外部に漏れることがないように細心の注意を払った。

本講座の英語学習支援のページに入るにはユーザIDとパスワードが設定されているため、学習者登録を行った者のみが以下に示すページへログインすることができる。無関係な第三者が英語学習支援のページに入るのを防いだ。



3-5. Moodle 上のコースフォーマット

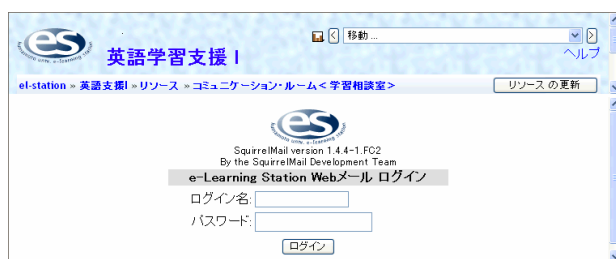
本講座ではコースフォーマットとして「ウィークリーフォーマット」を選択した。このフォーマットによって、コースは開始日と終了日が明確な週の単位で構成され、各週は活動で構成されることになる。トップのボックスにコース全体の概要を表示させることができるが、ここでは「コミュニケーション・ルーム<学習相談室>」とネット上にあるオンライン辞書に対するリンクを置いた。



3-6. Webメールの使用

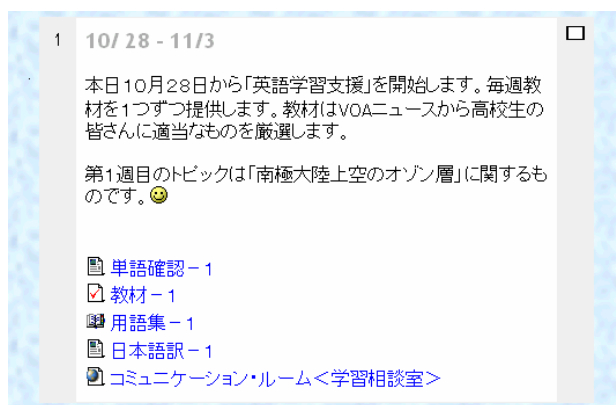
「コミュニケーション・ルーム<学習相談室>」でWebメールを使用して生徒への連絡を行ったり質問を受け付けたりした。本来、Moodle上のコースに

参加するためには e-mail アカウントを所持していることが条件である。しかし、たとえ高校でパソコンを使用している、或いは自宅にパソコンがあるとしても、高校生で e-mail アカウントを持っている者はいない可能性があるのではとの考えから、Moodle の運用・管理を担当している総合情報基盤センターに高校生のためのメール・サーバを立ち上げて頂いた。メールに関する指導は高校側をお願いした。講座期間中にメールに関する問題が発生することはなかった。



3-7. 教材内容

下に示したのは第1週目の箇所である。「単語確認」「教材(リスニング演習)」「用語集(単語集)」「日本語訳」「コミュニケーション・ルーム(Webメール)」で構成されている。



「単語確認」は Hot Potatoes の JMatch で作成したマッチング問題である。得点データは残らないが単語力養成のための練習問題として利用できる。

「教材(リスニング演習)」は本講座の中心となるものである。リスニング演習は英語音声を聴きながら英語の空欄に適切な語を入力する穴埋め(クローズ)形式によって行われる。教材は Moodle の機能の一つである活動「小テスト」によって作成することになる。小テストの作成はヘルプに詳しく記述されているため、ヘルプの指示に従って作業すれば問題

作成は容易である。音声データもキー操作だけで教材の中に埋め込むことができる。

「用語集(単語集)」は教材に出現する単語を手入力したものである。外部で入力したファイルをインポートすることやコース上で作成したものをファイルとして外部へエクスポートすることも可能である。

「日本語訳」はウェブページ形式で簡単に作成できる。

3-8. コラボレーション

当初は高校の先生方との教材の共同開発を目指していたが、お互いの多忙さのため、著者が教材を準備することとなった。しかし、「中間考査対策問題」に関しては、高校の先生からのリクエストに応じる形で作成した。問題原稿をメールで送付して頂いたものを著者が Moodle 上で問題形式として機能するようにした。

生徒たちのオンライン学習に際しては、協力校が普通科進学校でもあり、パソコン室が1教室しかなく、生徒たちが自由に使える時間に制約があったが、授業担当者の判断で、普段の授業以外の早朝課外の時間に教材としても活用頂いた。

3-9. データ管理(成績・アクセスログ)

「小テスト」は次の画面で詳細設定ができる。下の場合は「受験回数=制限無し」、「評点方法=最高評点」という設定にしている。各生徒は無制限に小テストを受験することができ、受験した小テストの得点が全てデータとして残るようになっているが、本人の得点としては最高評点を採用することになる。

小テスト公開日: 28 10月 2004 00 00
小テスト終了日: 1 12月 2005 23 00
時間制限: 無し
問題を混ぜる: No
答えを混ぜる: Yes
受験回数: 制限無し
直近の受験を基にする: No
評点方法: 最高評点
解答後にフィードバックを表示しますか?: Yes
フィードバックの中に正解を表示しますか?: Yes
復習を許可する: Yes
最大評点: 100
パスワード:
ネットワークアドレス:
続ける

クラス毎の成績データは Excel 形式やテキスト形式

でダウンロードできるようになっている。

アクセスログでは「学習者全体/特定の学習者」「全ての日付/特定の日付」「全ての活動/特定の活動」などを選択的に表示することができるため、学習管理・学習指導等を必要に応じて的確に行うことができる。

4. おわりに

本稿では、「熊大サマースクール」のプログラムの一つとして実施した高校英語教師向けの対面形態による「IT 環境を活用した英語学習支援講座」、更に「熊本大学地域貢献特別事業」の一環であるオンライン公開講座「e-Learning Station」で実施した高校生対象に実施した高校英語学習支援事業について述べた。従来の高大連携は出前授業という形態であったが、インターネットの普及に伴い、高校や自宅に居ながらにして大学の教員の講義を受講することが可能となった。オープンソース Moodle を用いた試みは今後の大学と高校の間の連携活動の可能性を示すものであると考える。

オープンソース Moodle を用いた高校英語学習支援事業は大学内の複数の部局からの協力と支援により実現したものである。また、協力校の校長先生及び授業担当の先生の本事業に対するご理解とご協力に対して感謝したい。

参考文献及び関連サイト

- [1]熊本大学地域貢献特別支援事業実施報告書:平成14年度~16年度,熊本大学総務部総務課地域共生戦略室編集,熊本大学地域連携推進本部発行,2005
- [2]熊本大学地域貢献特別事業ホームページ
<http://www.link.kumamoto-u.ac.jp/>
- [3]熊大サマースクールホームページ
<http://www.lifelong.kumamoto-u.ac.jp/kouza/summer/index.html>
- [3]e-Learning Station ホームページ
<http://www.link.kumamoto-u.ac.jp/station/index.html>
- [4]Moodle ホームページ
<http://moodle.org/>